

製品名	入目・荷姿	練り混ぜ水量(標準)		塗り厚	施工可能数量
NePt Guard	20Kg/袋	鍍塗り(標準)	3.7~4.0 ℓ /袋 (20Kg)	10.0mm	約1.04㎡/袋
		流し込み(ジョウロ)	8.5~9.0 ℓ /袋 (20Kg)	30.0mm	約19.0㎡/袋

※流し込みは目地幅25mmを想定した数量になります。

## 施工要領(標準)

### 【垂直壁面等へ(10mm厚まで)塗り付けする場合】

#### 1. 下地処理(重要)

- ① 施工塗り付け面の脆弱部は電動工具等を用いて適切に研り・撤去作業を行ってください。
- ② コンクリート表面にレイトンス、汚れ、油分等があれば全て取り除いてください。

#### 2. 練り混ぜ(攪拌)

- ① 練り混ぜ容器を準備し、使用目的に応じて適量の練り混ぜ水を投入してください。
  - \* 練り混ぜ水は上水を使用の上、標準練り混ぜ水量の範囲(標準)で粘度調整を行ってください。
  - \* 攪拌機の羽根はステンレス製をご使用ください。アルミ製は成分流失による影響を受けます。
- ② 徐々にNePt Guardを投入し、ハンドミキサーなどを用いて、均一になるまで粉体投入後必ず3分間以上混練りしてください。
  - \* 最初に標準水量を入りた後、2-3回に分けてNePt Guardを投入した方が安定します。(過去の実績より)

#### 3. 塗り付け施工

- ① 施工面へ散水し適度な水湿した後(湿潤状態)に塗り付け、必要に応じて吸水調整剤を使用してください。
  - ※施工面の湿潤状態が掴み難い場合は、最初から吸水調整剤(キープジョン・リペアプライマーなど)を使用してください。吸水材により施工が安定します。(過去の実績より)
  - ※下地が中性化等で劣化している場合は必ずアルカリ付与後に塗り付けてください。
  - アルカリ付与後、乾かない内の連続作業にて塗布する場合は吸水調整剤は必要有りません。
  - 尚、アルカリ付与の塗布量は0.2kg/㎡を目安としてください。
- ② 最初から10mm厚を一度に塗り付けると下の部分を引っ張る事が有りますので、最初は3-4mm、次に6-7mm塗り付けると塗り付け面(特に表面の仕上)が安定します。(過去の実績より)
  - ※この場合、次に塗り付けする場合は最初に塗布した材料の硬化を確認した上で塗布してください。
  - 硬化時間は気温・湿度に影響されますが、気温が20度前後で2~3時間を目安としてください。
- ③ 最初は施工面の凹凸に対し材料が埋まるように金ゴテで塗り付け(擦り付け・圧着を意識)してください。
- ④ その後、速やかに目的に応じた所定の施工圧にて塗り付けてください。
  - ※NePt Guardを増し塗する場合は櫛目を入れ、材料の硬化を確認した上で吸水調整剤(キープジョン・リペアプライマーなど)を塗布後、塗り付けてください。
  - ※NePt Guardの増し塗り(10mm厚以上)は2回までにしてください。付着強度が試験値を下回る場合がある為。

尚、やむなく翌日に増し塗りする場合は、前日に櫛目を入れた状態にて

吸水調整剤（キープジョン・リペアプライマーなど）を塗布後、塗り付けてください。

※NePt Guardを増し塗する場合は櫛目を入れ、材料の硬化を確認した上で

吸水調整剤（キープジョン・リペアプライマーなど）を塗布後、塗り付けてください。

#### 【吸水調整剤の使用目安】

- ・下地が乾燥している状態の場合にご使用ください(2層目以降も)。尚、湿潤状態の場合は必要有りません。

#### 4. 施工上の注意事項

- ① 使用前に必ずSDSをご一読ください。
- ② NePt Guardの塗り厚は20mmを超えないようにしてください。（基本塗り厚は10mm、20mmは状況に応じて）
- ③ NePt Guardの増し塗は2層(2回 2日以内)までにしてください。（基本は1層塗りです）
- ④ NePt Guardは樹脂を含んでいます。仕上は繊維が表面へ出ないように鏝などで押さえてください。
- ⑤ NePt Guardは外気温が5℃以下の場合は使用をお控えください。
- ⑥ NePt Guardの雨天時の使用はお控えください。
- ⑦ NePt Guardの施工後、下地から水が湧いてくる場合が有ります。速やかに止水工事を実施してください。